

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神奈川2期棟建設工事-共用棟	階数	地上4F
建設地	神奈川県相模原市中央区下九沢1120	構造	S造
用途地域	法22条区域、伝搬障害防止区域	平均居住人員	580 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2022年1月31日
敷地面積	3,774 m ²	作成者	竹歳 晃
建築面積	735 m ²	確認日	
延床面積	2,645 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 83%

③上記+②以外の: 83%

④上記+: 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.6

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	外皮は断熱施工することにより建物の熱負荷低減。内装材はすべてF☆☆☆☆を採用。高効率な空調システムとLED照明器具を採用し一次エネルギーの低減している。敷地内に緑化を設置。	その他 特になし
Q1 室内環境	外皮に断熱材を採用し外界から熱的侵入の抑制。内装材はすべてF☆☆☆☆を採用。敷地内は全面禁煙。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に緑化を設置。
LR1 エネルギー	外皮に断熱施工をすることにより外部からの熱負荷を軽減している。高効率な空調システムとLED照明器具を採用し一次エネルギーの低減している。	LR3 敷地外環境 LCCO2制御。
	Q2 サービス性能 居心地・快適性を重視した広さとし、建物の階高、空間の形状・自由さに考慮した。	
	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別できる部材の採用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される